

奄美群島日本復帰70年記念・ラジオ工作教室 ～小学生の夏休み自由研究応援～



令和5年7月23日
奄美海上保安部



奄美群島は、今年で日本復帰70年を迎えます。奄美の皆様これまでの海上保安業務へのご理解とご協力への感謝を込めて、7月23日ラジオ工作教室を開催、奄美の小学生40名と保護者が参加しました。

ラジオ工作で、海上保安業務でも使われる電波への興味をきっかけに、海上保安庁を少しでも知って関心を持って、将来大きくなったら、故郷、奄美のきれいな海を守る海上保安官になってもらえたら、私達はとても幸せです。

工作教室は、日本航路標識協会や日本無線(株)のボランティアスタッフと海上保安部職員のサポートで行いました。

「電波とは何？」の解説、そして、ゴーグルや半田ゴテなどの安全具や工具の使い方の説明を行いました。

いよいよ工作開始、子供達がラジオキットの包みを開くと、「ホントに作れるの?」「え～難しそう!」の声が上がりました。アンテナのコイル巻きや部品の取付けを始めると、一転、工作教室は真剣な雰囲気になりました。

完成して、ラジオから音が聞こえると、満面の笑み、イヤホンに耳をあて、地元のFM放送などを夢中で聞き入りました。奄美海上保安部は、地域の皆様との絆を大切に、安全安心に努めます。

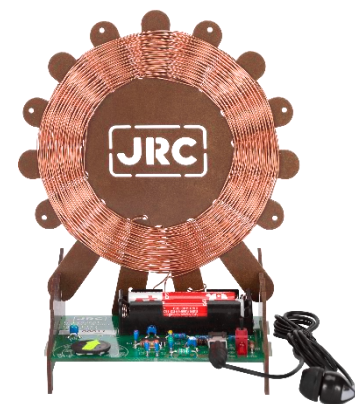
日本航路標識協会と日本無線(株)のボランティアスタッフの皆様のご協力に深く感謝いたします。



海上保安部長挨拶



ラジオ工作の様相



完成したラジオ



感度の良い窓際でリスニング



工作教室でリスニング



集合写真 ラジオが完成し満面の笑み